

紀要創刊号発刊に寄せて

弘前医療福祉大学長 豊川好司

知識の府としての大学を長期の視野に立って見たとき、そこでの本質的使命は言い古された表現ですが、学術の研究と社会に役に立つ人材の教育があります。真理を追究する研究が知識の創造と社会の発展をもたらし、研究に裏付けされた教育によって指導的人材を社会に送り出す任務です。それは学生たちが持っている潜在的な能力を引き出すことであり、教員に問われるのはこの能力を引き出し、学ぶ意欲を高め、個々の学生が持つ能力を発揮できる人間にする教育力です。

大学教員が教育力を発揮するためには、それぞれの専門分野において最先端の知識を求め、問題の所在を知り、その問題と主体的に取り組もうとする意欲を持ち、日頃から研究に励まなければなりません。そして、学生に知力や人間力をつけて成長させる大学であるためには、教員は人のために有用でありたいという熱望、役に立つだろうという大きな希望をもって激しく研究を続けて、得られた高度な知識や専門技術を通じて学問の本質を学生に表現していくこととなります。開学間もない本学は、研究が往々にして不徹底に終わりがちとなりますが、そのことを乗り越える道こそは、すばらしい教育力につながると考えています。

収録された論文は、本学教員の勉めて倦まない学究所産の一端です。もとよりその所論はいささかなりと学会に貢献することができ、且つ将来のために貴重な批判を受けることができることを期待するものです。

開学1年目の本学が、紀要をここに創刊できたことを機会に、知識を創造し獲得するための研究がさらに活発になり、その知識を伝達する教育、そして研究成果を社会に還元し奉仕する活動がますます高められ、延いて学問と学会のために貢献できることを、本学の深く悦びとするところです。